

○計画期間：平成27年4月～平成32年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は平成27年4月以降、高山市中心市街地活性化基本計画に基づき「住みやすいまち」「にぎわいのあるまち」「やさしさにあふれるまち」を基本方針として各事業を実施している。

現段階では、目標を達成するために設定した各事業が、完了していない段階であり、中心市街地の状況には大きな変化がないため、中心商店街の営業店舗の増加などの中心市街地の活性化には直接的に寄与できていないのが現状である。今後、各事業が完了すれば、中心商店街を中心に、営業店舗の増加など効果が現れることが期待できる。

その他、中心市街地内での取り組みについては、高山本町三丁目商店街において、平成28年1月に外国人観光客が免税手続きを一括してできるカウンターを開設した。百貨店など大型商業施設と連携せず、商店街単独での一括カウンターは、全国で初となり、民間においても中心市街地の活性化に向け、取り組んでいる。

2. 平成27年度の実施等に対する中心市街地活性化協議会の意見

- ・本計画に掲げる目標を達成するために設定した事業「旧森邸等整備事業」「飛騨高山屋台村整備事業（仮称）」については、関係団体と調整・連携し、より効果が現れるものとなるよう引き続き取り組んでいただきたい。
- ・中心商店街において、子育て世代が安心して子供を預け仕事ができる環境や、高齢者が気楽に集うことができる環境を整えていく必要がある。
- ・市中心部を流れる宮川沿いの回遊性を高めるために、引き続き歩行環境の整備に取り組んでいただきたい。
- ・中心商店街においては、市民向けの店舗を配置するなど、観光客のみならず、より多くの市民で賑わうような取り組みを進めていただきたい。
- ・休日等は中心商店街を通る主要道路が渋滞するため、車輛の通行方法等について検討していただきたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
住みやすいまち	中心商店街 歩行者自転車通行量	16,369 人 (H26)	17,349 人 (H31)	18,589 人 (H27)		①
にぎわいのあるまち	中心商店街営業店舗数	365 店舗 (H25)	371 店舗 (H31)	362 店舗 (H27)		①
やさしさにあふれる まち	公共施設利用者数	349,081 人 (H25)	370,354 人 (H31)	345,178 人 (H27)		①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「中心商店街歩行者通行量」については、目標達成に寄与する主要事業「旧森邸等整備事業」などが完了していないものの、観光客の増加等により目標数値を上回った。今後はそれらの各種事業が完了することに伴い、その事業効果として中心商店街の通行量が増加される見込みである。

「中心商店街営業店舗数」については、目標数値、基準値を下回ったが、目標達成に寄与する主要事業「飛騨高山屋台村整備事業（仮称）」においては、事業実施に向け、今年度、国の補助を受け立地調査を行い、計画通り進捗している。

「公共施設利用者数」についても、目標数値、基準値を下回ったが、目標達成に寄与する主要事業「高山駅東西線（自由通路）整備事業」が計画通り平成 28 年度に完成する見込みであることから、事業完了に伴い、その効果が徐々に現れ、目標の達成は見込まれる。

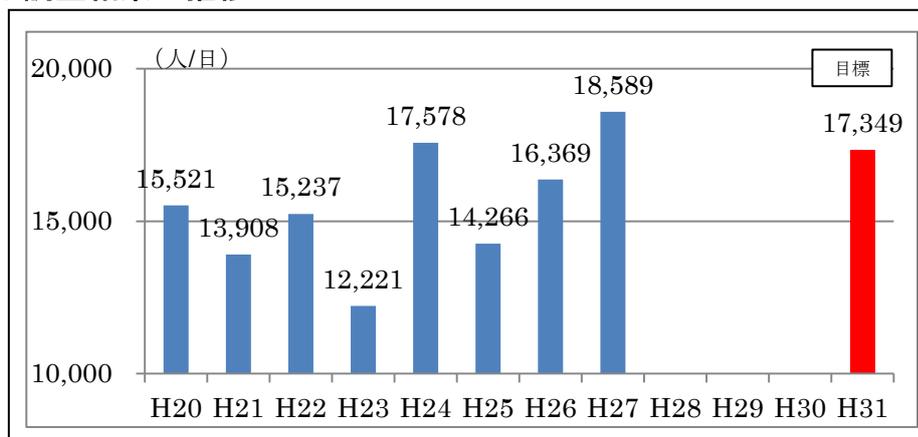
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

フォローアップを実施するのが、今回が初めて。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心商店街歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P63～P71 参照

●調査結果の推移



年	人/日
H26	16,369 (基準年値)
H27	18,589
H31	17,349 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行者、毎年11月の平日、休日の各1日に中心商店街の5地点において午前10時から午後5時まで計測

※調査月：平成27年11月

※調査主体：まちづくり会社

※調査対象：中心商店街5地点（本町通（北）、国分寺通、安川通、本町通（南）、さんまち通）を通過する歩行者・自転車通行者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 旧森邸等整備事業（市）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	伝統文化をテーマとした文化交流拠点施設として整備するとともに、隣接する旧図書館跡地に防災機能を持つ交流広場として整備する。
事業効果及び進捗状況	平成28年度に実施設計、平成29年度完成予定であり、事業効果として253人/日を見込んでいる。

②. 交流広場整備事業（市）

事業完了時期	平成30年度【実施中】
事業概要	高山駅周辺整備事業地内に様々なイベントの実施が可能な交流広場等を整備する。
事業効果及び進捗状況	交流広場の整備が平成29年度に実施設計・着工、平成30年度完成予定であり、その交流広場を使用したイベントによる事業効果として133人/日を見込んでいる。

③. 飛騨高山屋台村整備事業（仮称）（まちづくり会社、商店街振興組合）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	誰もが気軽に立ち寄れることのできる店舗が集結した屋台村を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成28年度に実施設計、平成29年度完成予定であり、事業効果として105人/日を見込んでいる。

④. 駅東口駐輪場整備事業（市）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	駅東口に駐輪場を新たに整備する。
事業効果及び進捗状況	平成28年度に着工、平成29年度完成予定であり、事業効果として6人/日を見込んでいる。

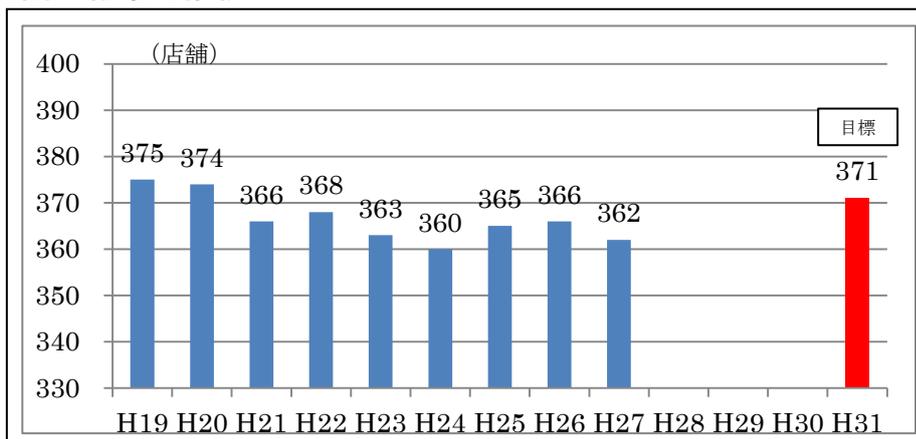
●目標達成の見通し及び今後の対策

観光客の増加等により目標数値を上回ることができた。

なお、目標達成に寄与する主要事業である「旧森邸等整備事業」「飛騨高山屋台村整備事業（仮称）」については、平成28年度の実実施設計に向け、関係機関と連携・調整中であり、予定通り進捗している。

「中心商店街営業店舗数」 ※目標設定の考え方基本計画 P73～P76 参照

●調査結果の推移



年	店舗
H25	365 (基準年値)
H26	366
H27	362
H31	371 (目標値)

※調査方法：職員による目視

※調査月：平成27年10月～12月

※調査主体：まちづくり会社

※調査対象：中心商店街

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 総合的な空き店舗活用促進事業（まちづくり会社）

事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	<p>(チャレンジショップ事業) まちづくり会社が空き店舗所有者に対し意向等の調査を行い、利用者の公募、審査、選定、経営の支援までを一括して実施する。</p> <p>(アンテナショップ事業) まちづくり会社が地産品等の販売を行うアンテナショップを開設する。</p>
事業効果及び進捗状況	両事業の実施に向け、空き店舗の調査中であり、現在3件ほど所有者と交渉中である。なお、両事業完了による事業効果は6店舗増加を見込んでいる。

②. 飛騨高山屋台村整備事業（仮称）【再掲】（まちづくり会社、商店街振興組合）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	誰もが気軽に立ち寄れることのできる店舗が集結した屋台村を整備する
事業効果及び進捗状況	平成28年度に実施設計、平成29年度完成予定であり、事業効果10店舗増加を見込んでいる。

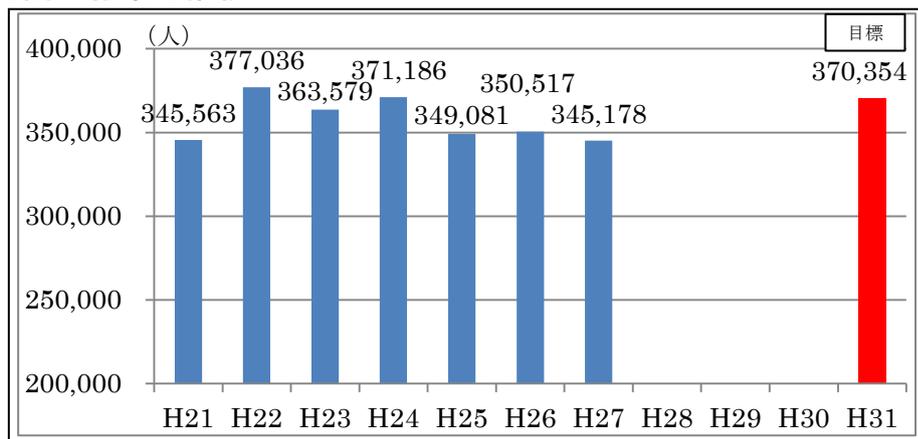
●目標達成の見通し及び今後の対策

営業店舗数は減少したものの、「飛騨高山屋台村整備事業（仮称）」が完了すれば、営業店舗数の大幅な増加が見込まれ、目標を達成することは可能である。なお、同事業の進捗状況については、今年度立地に係る調査を実施し、平成28年度の実施設計に向け、関係機関と調整

中であり、予定通り進捗している。

「公共施設利用者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P77～P80 参照

●調査結果の推移



年	人/日 (単位)
H25	349,081 (基準年値)
H26	350,517
H27	345,178
H31	370,354 (目標値)

※調査方法：各施設の利用者数

※調査月：平成27年4月から平成28年3月まで

※調査主体：高山市文化協会、社会福祉法人高山市社会福祉協議会

※調査対象：市民文化会館及び総合福祉センターの施設利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高山駅東西線（自由通路）整備事業（市）

事業完了時期	平成28年度【実施中】
事業概要	駅東西を結ぶ自由通路の新設、修景・モニュメントの設置
事業効果及び進捗状況	平成25、26年度に実施設計、平成27年度に着工、平成28年度完成予定であり、事業効果として1,437人を見込んでいる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に寄与する主要事業である「高山駅東西線（自由通路）整備事業」については、平成28年度の完成に向け、現在整備中である。この整備により、市民文化会館、総合福祉センターへの利便性が向上し、当該施設への利用者が徐々に増加されると見込まれる。